no.10

平新報

發行日 毎月三回 五ノ日發行
發行兼編輯印刷人 山野邊庄吉
發行所 福島縣平町田町五五 平新報社
廣告料五號十二字詰一行一回壹圓 場所指定倍增
定價一部送料共拾錢

動中靜觀

▼舊御正月樣も明後日で鳥小屋の煙に乘つて行つて了ふ事となる町は舊正月には門松樹てないが家のなかは正月である樣だ地方農村は舊元旦に國旗こそ立てないが野良仕事せるもの一人もなく實に正月氣分であつた農村疲弊せり!!の聲ありと雖もまだ〱心强い、呑氣サがある。

▼玉川農會副會長の丹野秀治君何が氣に合はぬか去る日野田待合で今日の挨拶もソッチ除けで筆者に食つてかゝり、君それで新聞やつて行けるのかい、法を以つて爭ふ等との憤り振り……ハヽ、解せた本紙前々號の『三錢ポスト』の記事〆ナ秀サン

◇御斷り『齒の智識』は筆者の都合上本號に休載

!藪をつゝいて蛇出すべからず、御希みとあらば石裸々に事實を事實として具体的に掲載、報道するに靜觀子は何ら躊躇はせぬ否何時でもその準備あり實際調査の上ですから……今少し男らしく紳士的に挑戰し來たれ

▼自由人山田政好氏近來貫虎會員となり自由人にあらず、頗る心身ともに『タヒラ』かになつたとの噂サ、先誰綠雨氏屆一層の自重を切望す

平等觀察の本領(一)

在八雲　平賀生

自分は中學の二年に在學する子供を長男に、尋六と尋二にゐる三人の男兒と外に一男二女との六人の小供に妻を加へて八人の家族を擁して薄給の俸給生活をしてゐるので家賃が高い當節では手廣い住居は到底望まれないから漸く客間書齋兼帶の八疊一間丈を小供等を容易に入れぬともよい程度の家に住まつてゐる。長男が中學に入つてから此間を彼が勉强室にも充てゝゐる。長男次男三男の三人の間に時々次のやうな問題が起る

長男が勉强最中に次男と三男とが勉强に忙はしいとき、面白い讀物を讀まふとする時に書齋に入らうとする長男は自分の勉强の邪魔になるので、自分が此室を獨占する特權でも有するかの如くに彼等二人の入室を拒む。弟達は兄の命に容易に服さぬ、自分等も勉强の爲には書齋を使用するは何等支障ない許りでなく當然の權利があるが如く主張し遂に入込んで勉强を始める書齋は爲めに同時に三人の主を得ることになる(續く

◆壽言

雙峯佐藤翁は安井息軒先生の門に學びて、篤學謹行の君子儒なり、夙く既に相馬の故園に歸遯し爱を忘れて文詩を樂み富貴を視ること浮雲の如し文章報國の志篤く子弟の教養倦むこと無く、其人其文宛然古人の風あり

予翁と相識りてより今に三十年、物換り星移り、一片塵世の情日に切なるものあり、時に書を寄せて起居を問ひ示教を辱くして、暮雲春樹の情を慰めたるが翁老いて益々壯に其の好む所に從ひて愉ることなく今年已に中壽の齡になり夫人は則ち喜壽と聞き謹みて椿壽を祝して曰く「仁者壽さ」

大正丙寅一月三十一日

辱交　植竹源太郎識

●蛙聲集● 元磐中教師たりし佐藤精明(雙峯)氏は齡既に八十才であるが目下相馬郡石神村に居住和歌に文に造詣深く、最近の著一月二十日附發行和歌集蛙聲集がある

●圖書科振興論● 平町胡摩澤桐谷文中氏は磐中教諭近藤廣記氏のものせる圖書科振興論を三月一日附發行し一般知人に無料にて配布した近藤氏は本郡小學校出身にして學校圖書科委員である右圖書刊行に就ては郡視學信夫杉妻村鈴木周次郎氏の篤志によるものであると

平町 森合齒科医院 自銀 森合芳男

温泉旅館 松柏館 電話五番 湯本

平町田町 辯護士 山野邊義政 法律事務所 電話六二五番

平町一丁目 綿引印鋪 綿引秀親

内科、小兒科、皮尿科 藤名醫院 平町紺屋町 電話五〇七番

銘酒 玉の井 釀造元 長瀨半五郎 福島縣石城郡玉川村

日本基督平教會堂

南町新市街地に新築進工中

日本基督平教會にては平町南町裡に參萬壹千余圓を投じて教會堂を新築の計劃であつたが今回一般有志の寄附金も集り工事進工中である、右工事費の寄金の内譯は左の如くであると

△海外教友寄附金一四、五二七圓五〇△平教會信徒獻金三、七〇〇圓△一般有志寄附金三、〇〇〇圓 因みに釜屋商店では五百圓寄金せる由である

故大越中佐顯彰會

一段の努力を要す

元磐中校長植竹源太郎氏を會長とする大越中佐顯彰會にては同中佐の銅像を平町内に建設せんがためその建設義捐金を募集中なるが財界不況の今日各役員屆一層努力を熱望し植竹氏の義擧を貫徹せしむべきであると有志の人々は語つて居る

鹿島村助役

認可申請中の鹿島村助役新妻銭雄氏は去る十八日附認可下附されたと

小名濱町 片岡醫師 出張中

小名濱町西町片岡醫院長片岡鎌三郎氏は眼科研究のため去る十三日より東京に出張中にて三月十三日歸濱三月十四日より從前の通り一般診療をなす筈にて東京出張中間休業中であると

平町二丁目 當籤福運者 伊勢參拜は

三月十五日平出發

舊昨年末に催せる平町二丁目聯合大賣出しの際特等伊勢參宮券に當れる幸運者は七名であるが右七名と二丁目有志兩三名も加はりて三月十五日午前十一時平發參宮の途に上ると

玉川、鹿島の養蠶活動寫眞

石城郡養蠶同業組合、玉川鹿島兩支部主催にて養蠶宣傳活動寫眞を去る十六日夜鹿島村御代佐原久義氏宅にて開催せるが頗る盛況を呈し結果良好であつたと

小名濱消防組 更新幹部

副頭は詮衡中

小名濱消防組の新幹部は左の如くである

▲組頭小濱長太郎▲副組頭詮衡中▲小頭第一部小野新太郎第二部田中權次郎小松力小野太次郎第三部留任岡山重喜坂本熊太郎第四部齋藤義定 因みに會計は岡山重喜氏

小名濱信組總會

小名濱町信用組合第三回組合總會を去る十五日午前九時より小名濱小學校にて催したと

小名濱、玉川 傳染病豫防議員會

小名濱、玉川傳染病豫防組合議員會を去る十八日小名濱町役場にて開催したと

小名濱赤十字 少年團

小名濱赤十字少年團發會式を去る十一日建國祭當日小名濱小學校講堂にて擧行せるが團長は福尾小學校長協議員は鈴木町長小野縣議、小濱組頭、高木助役、團員は同校尋常五年生以上を以つて組織すと

小名濱町會

小名濱町會を本月二十日に、開催し退職手當等を諮り二十五日は豫算會議を開く

實業振興會生る

複雜たる社會に處しては團体の力によつて一致共同善進せねばならぬといふ見地から、石城郡內青年有志を以つて實業振興會を組織しそれが發會式を去る二十日平町大和家に催したと目下の會員は左の青年同志である

平町三丁目佐々木(丸ほん)同五丁目大竹久太郎同四丁目松本貞雄、同關內榮助、同二丁目大村一郎、同柳町有賀、玉川村齋藤晃、內鄉村小島古田上遠野村小澤貞久、其他

小名濱收入役

二十日の小名濱町會にて欠員中なる收入役に樋口逮氏を推す事となり認可申請す

平新紅筆

◇平町新田町仲家の小僧曰く借金して漫遊出來るのは藝妓許りだと成る程彼女の漫遊地は水戸から……小名濱……四倉……そして平へ…然しこの頃何を感づいてか盛んにダンつくを物色私は戶主で母を養ふ義務ありますからハゲでも何でもよろしく◯アレばだとこの妓五黄土星生で二十二才なか〱氣がハゲしい樣だが同年の東京に行つた菊蝶の樣に癩は起さぬだらふとの噂サ◇去る關の金ピラ祭りに平藝妓數名あの混雜中を横体行進!!取締の巡査も默認の体、どうも女性の人は女學生でも然りだが肩を竝べて歩いたがる共通性があつて往來の人に迷惑をかける樣だテ

會席 谷口樓 平二 電話八番

●●●●●●上田外科醫院張宴 平町南町上田外科醫院長上田耕作氏は開業一週年になりそれが紀念と祝賀を兼ね去る二十三日夜大貞に知人數拾名を招き宴を張つたと

▲小野保氏愛息の訃 植田町小野保氏長男(四才)病氣中の處過日死去したと因みに葬送は舊正月松アケ後營む由

創立參拾壹年の
歴史を有する
石城産科婦看護婦學校

創立卅一年の古い歴史を有する平町一丁目の石城産科婦、看護婦學校では大正十五年度生徒を募集にかゝりたるが、同校の今日に至る校長鷹崎千代女史、校主鷹崎貞衛氏の奮闘は世人衆知の事實であつて多くをものするの要もないが同校は明治四十年以來郡費縣費等を補助せられ又校長は先年衛生功勞者として内務大臣の選奬を受けた事あり開校以來の同校の卒業生約六百人は成績良く地方に活動しその天職を發揮して居る。因みに同校では別項廣告の如く一ヶ年に産婆看護婦の兩科を修め得る制度で寄宿舍は自炊の便あり現在講師は左の人々である（イロハ順）

醫學士高久忠氏醫學得學士村上則裕氏同松村鐵郎氏同酒井國三郎氏同木村寅次郎氏同赤羽清氏

教授作法科志賀キン女史

尚ほ同校では昨年は創立三十年に當りたるも都合上本年その祝賀會を催す由にて各講師に記念品を贈ると

元玉川村々長 箱崎伊勢松

小名濱消防組頭 小濱長太郎

鹿島村助役 新妻贊雄

小名濱町助役 高木保

玉川村大字金成區長 鈴木金太郎

鹿島村在郷軍人分會長 長瀬東

磐崎村々會議員（次第不同） 酒井秀吉 金成仙藏 國井縫治 吉田渉

磐崎村岩ヶ岡 御代德次

◇屋上の文化 セメント瓦

平町南町 大正洋瓦工業社 電話四三五番

分工場 江名町中ノ作

平町南町 上田外科醫院 電話一二九番

平町四丁目 佐藤齒科醫院 電話五〇八番

平町停車場通り 清水醫院 電話二三八番

平町南町 耳鼻咽喉科 大和田醫院 電話一七〇番

定評あるかやの
既製洋服と外套

脊廣三ッ組 一五、〇〇ヨリ
オーバー 六、八〇ヨリ
トンビ 八、五〇ヨリ
大人マント 六、五〇ヨリ
モヂリ 五、〇〇ヨリ

かやや洋服店
磐城平町（電二〇三）

産婆、看護婦生徒募集

◆修業年限、産婆看護婦兩科を通じ滿一ヶ年

◆願書提出、三月三十一日迄

平町一丁目
石城産科婦看護婦學校
電話三五七番

不思議な滋強靈液
養命酒

畏れ多くも皇室御買上の光榮を荷ふ三百年の歴史を有するマムシ酒の靈能

アラユル醫藥療に飽いた肺結核肺炎カタル、ロクマク、神經衰弱、腦病、精力減退病後の衰弱、虚弱性の人、胃病、婦人病等に惱む人々よ偉効眞に驚く此のマムシのエキスを直ちに服用せられて其眞價を知られよ『善は急げ』である

定價試用分壹圓五拾錢　德用分貳圓

發賣元 信州天龍館東京支店
特約代理店 山野邊藥局
平町五丁目角
藥劑師 山野邊東次郎

廢物利用
燃料節約
全部鑄鐵製

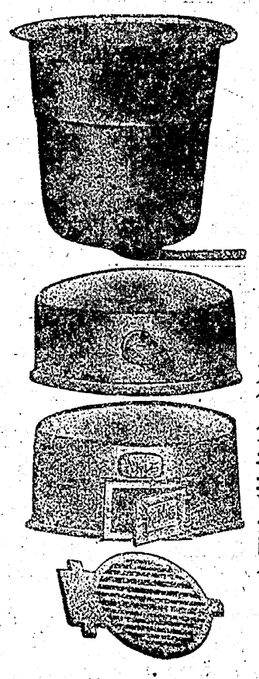
特許 長壽風呂呂呂!!

皆さん國家の經濟は家庭の經濟から家庭經濟の第一歩は先づ燃料の節約であります　燃料の節約とは即ち石原式長壽風呂!!!の御使用が肝要であります　他の同種類の何れの点を比較するも卓越せるは本品の誇とする所であります　若し御風呂の新設或は改良の時は是非便利で經濟な長壽風呂の御使用を御すゝめ申します

本器の特長!!!

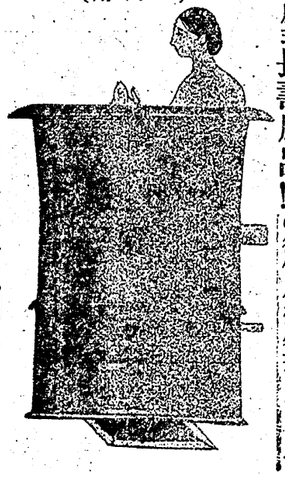
一、一日五錢の白銅一枚で終日の勞を忘れ
二、僅か十五分内外で沸く
三、廢物同樣な松葉藁屑は勿論薪炭等何んでも良く燃える
四、全部鑄鐵製ですから堅牢で長壽使用する事が出來ます
五、焚口は其まゝ煙筒は前後　左右何れの方にも向られますから　火災の憂がありません
六、据付ける時又は移動する時は　セメント　パツキン及煉瓦等は必要ありませんから金は掛りません
七、組立に要する職人の手間は全く入りませぬ　簡單ですから御自身で御自由の所に

（釜總高二尺三寸五分）



定價金參拾五圓也

總高二尺八寸
口經 内經二尺四寸五分 外經二尺六寸
（二人用）



平町五丁目
銅鐵諸機械金物問屋
磐城セメント特約販賣
久 釜屋商店
振替東京一〇九五六番
電話特長九番一三九番
諸橋久太郎